

## 第64回建築士会全国大会 あきた大会参加報告書

テーマ：『建築』で挑戦！郷土のこれから ～け、け、けの秋田で まずかだれ～

参加日：令和4年10月14～15日

参加者：圓崎直之 吉岡政行 濱田勇次

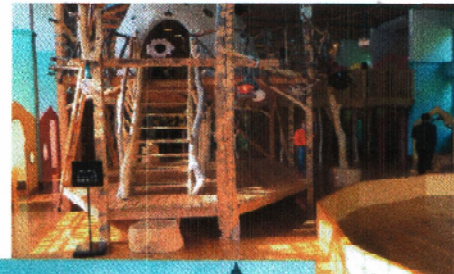
10月14日 大宮駅7:57発 こまち5号に乗車し、11:25に秋田駅到着。駅前のオリエンタルホテルに荷物を預け、式典会場の「あきた芸術劇場ミルハス」に向う。会場で、お弁当『秋田の弁当「け」!』を食べ、式典会場へ。

式典は、オープンセレモニー「なまはげ太鼓」が、素朴な力強い躍動感あふれる演技で、印象的でした。その後、主催者挨拶、来賓祝辞、表彰式、大会アピールと続き、最後に次期開催地の静岡県に引き継がれ、閉会となりました。全体の印象としては、過剰に派手にならず、素朴で質実な好印象の大会式典だと感じました。



翌日15日のエクスカージョンは、「国の登録有形文化財を活用した事例に触れる」に参加しました。

1件目は、由利本庄市にある「鳥海山木のおもちゃ美術館」。国登録有形文化財「旧鮎川小学校」でもあり、秋田材を生かしたモダンなデザインで、多世代で楽しめる美術館でした。



2件目は、にかほ市にある「白瀬南極探検隊記念館」。にかほ市出身の白瀬が、明治末期に南極を目指した記録を展示した記念館。僅か204トンの木造船。記念館設計は、黒川紀章。



最後は、にかほ市象潟（象潟）蚶満寺。松尾芭蕉も訪れた奥の細道の景勝地の一つです。

